



たより No.3—2020

2020(R2).3.31

花粉症の時期が近づいてきました。

予防は早めに始めましょう。

今年の花粉症の動向

日本気象協会の発表によると、2019年の北海道の夏は気温が高く、日照時間は平年並みでしたが、降水量が多くなりました。2020年の北海道ではシラカバの飛散量は多くなる予想で、4月下旬から飛散が始まる見込みです。症状を軽くするためにも花粉に暴露されないよう工夫しましょう。また季節前投与も症状を防ぐには重要です。



花粉症は大人になってから発症することもあります。

「くしゃみ」「鼻みず」「鼻づまり」の症状が続くようであれば、検査をお勧めします。

検査

- ・ 鼻内検査：診察室で鼻の中の状態をみます。
- ・ 鼻汁検査：鼻みずをとって、アレルギー性鼻炎の時に見られる好酸球があるかどうか顕微鏡で確認します。5～10分程で結果がわかります。
- ・ 採血検査：原因アレルギーを調べます。結果は1週間ほどかかり、費用は3割負担の方で1項目400円弱、最大13項目まで調べられます。また39項目セットになっているものもあります。

治療

治療は大きく分けて、①症状を抑えるもの ②体質を改善するもの ③鼻内の構造自体をかえるものがあります。

①は、内服薬や点鼻薬の使用です。

- ・ 内服薬：最近のお薬は眠くならないものも多くなってきました。
- ・ 点鼻薬：内服治療と併用したり、単独で使用したりします。

②は、スギ、ダニのアレルギーの方のみ対象ですが、3～5年内服を続けスギやダニに対する免疫をつけ、体質改善を行います。

③は、手術治療です。

